

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立常盤小学校

学校

児童数

217

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.44	16.94	33.14	37.69	44.76	9.81	152.51	19.15	49.28
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.18	17.11	36.80	37.69	34.22	10.05	144.33	11.10	51.11
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

体力合計点が男子が3.31ポイント、女子が3.17全国平均を下回る結果となっている。全国平均との差は縮まっている種目が多いものの、以前体力は低い現状がある。

しかし、「立ち幅跳び」は男子で1.38ポイント、女子で0.04ポイント全国平均を上回っている。これらの結果から、瞬発力に関しては男女ともに良好であると言える。

児童質問紙を見ると、質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に答えた児童の割合は男子が92.5%で高い水準を保っているが、女子では79.6%と、全国平均に比べて低い結果となった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子10.2%、女子14.8%で、全国平均より男子は高い（多い）結果となったが、女子は低い（少ない）結果となっている。

体力が低い現状は、地域的に運動ができる場所が少ないとこと、本校が大規模校で児童数が多いいため、自分がしたい運動ができる場所や機会が限られていることが要因の1つであると考えられる。一方で、「運動やスポーツをすることは好きですか」に対する、男子の肯定的回答の割合が高かったことや、1週間の総運動時間が60分未満の女子の割合が低い（少ない）結果となったことから、運動・スポーツに対する意識の変化が見られ、運動意欲の向上につながっていくのではないかと考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

限られた教育資源の中、より多くの活動時間・運動量が確保できるように、体育備品の整備と整理整頓を日常的に行ったり、時間割の調整を行ったりしてきている。また、授業展開に関しては、授業の始めに授業の目標を示したうえで学習をスタートさせる、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行う、自分や友達の動きを確認するためにICT機器を活用するなどの工夫を行ってきている。これらの結果、「体育の授業は楽しいですか」、「体育の授業で、目標を意識した学習で『できたり、わかったり』することができますか」の質問に対して全国平均と同程度の肯定的回答を得ることができ、取組の成果を確認することができる。

体育の授業以外にも、時期を決めてなわとび週間やかけあし週間を設けたり、放課後に運動場を開放したりするなど、日常的に児童が運動に親しめるようにしてきている。

児童の体力や運動能力は改善傾向にあるものの、引き続き児童の基礎体力・運動能力の向上、運動意欲の向上を図っていく必要がある。